



令和 5 年 12 月 21 日

技術職員の新しい組織の立ち上げ方の勘所とは？
シンポジウム『チーム共用による技術職員組織構築の過去・現在・未来』
開催について

◆発表のポイント

- ・本学は 2023 年 4 月に、研究者らとともに課題解決を担うパートナーとして重要な存在である“技術職員”を組織化した新しい全学組織「岡山大学総合技術部」を始動しました。
- ・2024 年 1 月 22 日（月）に技術職員の組織構築について文部科学省や他大学関係者らとともに、岡山大学総合技術部“初”の主催シンポジウムを本学鹿田キャンパスで開催します。

技術職員は、大学の研究力の基盤として、研究者らとともに課題解決を担うパートナーとして重要な存在です。研究力の強化に向けて、本学は 80 人の技術職員を組織化した「総合技術部」を 2023 年 4 月に立ち上げました。また、国のガイドライン等に基づいて全国の大学でも技術職員の組織化を進めていますが、新しい組織を構築することは解決すべき課題も多く、ハードルが高いのが現状です。

そこで、技術職員の組織構築をテーマに、文部科学省や 3 大学（東京工業大学、山口大学、琉球大学）とともに、組織の立ち上げから現在に至るまでのプロセスや工夫、課題、発展等について考えるシンポジウム『チーム共用による技術職員組織構築の過去・現在・未来』を、2024 年 1 月 22 日に本学総合技術部主催で本学鹿田キャンパスの Junko Fukutake Hall の現地とオンラインのハイブリッドで開催します。

チーム共用とは、役員、研究者、技術職員、事務職員、URA 等、大学全体の多様なプロフェッショナルが参画し、大学としての研究設備・機器の共用化・共用推進に協働していくことです。本学の総合技術部の立ち上げにも、学長をはじめ多くの関係者が関わりました。シンポジウムでは、文部科学省による講演や、学長と総合技術部長から組織構築の経緯や技術職員組織の特徴を紹介します。また研究基盤の要となる技術職員の組織構築をテーマにしたパネルディスカッションも行い、3 大学と岡山大学から技術職員各 1 人と事務職員各 1 人をパネリストに、組織の立ち上げから現在に至るまでのプロセスや工夫、課題、発展等について議論します。

本シンポジウムは、これから技術職員の組織化をする機関や課題を抱えている機関等の一助となることや、他大学の事例を元に新しい組織を構築する際の勘所等を考えること等を目的としています。

※本シンポジウムは、一般社団法人研究基盤協議会が主催する研究基盤 EXPO2024 ウィーク（2024 年 1 月 22 日～26 日）内の 1 イベントとして開催します。



PRESS RELEASE

1. 名称 『チーム共用による技術職員組織構築の過去・現在・未来』
2. 主催 岡山大学総合技術部
3. 共催 一般社団法人研究基盤協議会（CORE）、東京工業大学、山口大学、琉球大学
4. 開催日 2024年1月22日（月）13:15～13:30 研究基盤 EXPO2024 オープニング
13:30～16:30 岡山大学シンポジウム
5. 会場 Junko Fukutake Hall（岡山市北区鹿田町 2-5-1 岡山大学鹿田キャンパス内）
※オンライン同時配信あり（当日、岡山大学総合技術部 HP 上から配信）
6. 対象者 大学・研究機関の技術職員・事務職員・教員、学生、一般
7. 定員 会場 100 人程度、オンライン定員は制限なし
8. 参加費用 入場無料、申込無料
9. 参加方法 事前申込制。QR コードもしくは研究基盤協議会 HP よりお申込みください
https://www.jcore2023.jp/application_expo2024/
10. 申込期間 2023年12月1日（金）～2024年1月19日（金）



岡山大学総合技術部HP (<https://www.okayama-u.ac.jp/user/techall/>)

※本シンポジウムは、研究基盤協議会の研究基盤EXPO2024ウィークのイベントとして開催するため、シンポジウムの前に同ウィークのオープニングイベントが行われます。

<お問い合わせ>

岡山大学総合技術部 事務担当（橋本、後藤田）
（電話番号）086-251-8442
（メール） sougougijutsubu@adm.okayama-u.ac.jp

